

令和6年 第4回 白馬村議会定例会 産業経済委員会報告

本定例会において、産業経済委員会に付託された案件は4件です。審査の概要と結果を報告します。

● 議案第53号 工事変更請負契約の締結について

令和6年12月16日に発生した黒豆沢土砂災害における宅地土砂排除災害復旧工事に関する変更請負契約について。

当初土砂量を約1万³m³弱と推計したが、生産ベースにより約1万5千³m³と大幅に土砂料が増加したことから、変更契約するもの。変更後の契約額は1億5,274万6千円から5,442万8千円を増額し、2億717万4千円の増額変更するものです。

【質疑・意見】

問 搬出する土砂が15,000³m³増えたとのことであるが、臨時会で説明があった面積18,000²m²で変更はないとのことでしょうか。

答 そのとおり。

問 国庫補助等の財源の内訳は。

答 約2億700万の事業費のうち、約1億9,700万が補助対象で、その半分が国庫補助、その半分の9割が村債、残りが一般財源の予定である。

問 増額になった部分について、単価も上がっているのか。

答 単価は上がっていない。

討論はなく採決したところ、議案第53号は、委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定いたしました。

● 議案第57号 令和6年度白馬村一般会計補正予算（第6号）所管事項

《観光課関係》

観光総務事業99万円の増額は、白馬村索道協議会からの要望で、スキー村民デー開催日に滑走距離やリフトに乗車した回数を、自動記録し表彰するなど、活性化のための雪山アプリ導入を目的としたもの。観光宣伝振興費の差し替えは、ふるさと納税リフト券返礼品事業の補助金共同申請による小谷村と野沢温泉村の負担金により一般財源から振り替えたもの。商工振興費221万4千円増額は、創業塾による創業者支援補助金が、5名から9名に増えたことによるものです。

【質疑・意見】

問 その場でふるさと納税した方に、その場でリフト券を返礼できるシステムのデジタル田園都市国家構想交付金事業は、今年からできるのか。

- 【答】 白馬村は12月20日前後、小谷村は年末、野沢温泉村は1月のリリースを目指している。
- 【問】 索道協議会から、依頼のあった雪山アプリの負担金について、観光局の負担はないのか。
- 【答】 観光局の業務としては、上位入賞者へ、商品の交換と周知をお願いしている。
- 【問】 アプリの導入に関しては単年度のみか、ただ単年度で終わらせるのではなく、有意義に使用してもらいたいし、その後に繋げていただきたいが。
- 【答】 単年度の導入経費となる。しかし多くの方にスキーを親しんでいただきたいという索道協議会の思いもあるので、村も賛同していきたい。
- 【問】 創業塾の9名は、白馬村で創業していただけるのか。
- 【答】 要綱上、白馬村での創業が対象となっており、審査も要綱に沿って行っている。
- 【問】 白馬村で創業している方で、地主の都合や諸事情によって、やむを得ず他の地域に移らなければならない方がいるが、そのような方に支援できないのか。
- 【答】 そのような事例に対しての補助はなく、今後検討していく。また商工会から創業に対しての困りごとについて相談があり、村としても支援していくことで話をしている。

《農政課関係》

林業振興費30万円の増額は森林整備事業補助金返還金によるもの。過年発生農地農林施設災害復旧費113万3千円の増額は、黒豆沢土砂災害による農地への土砂流入量が設計量を大幅に超えたことによる、工事費の増額によるものです。

【質疑・意見】

- 【問】 田の堆積した土砂について、どのような状況か。
- 【答】 堆積した土砂は、すべて村の土捨て場に排出した。
- 【問】 林の中に、村以外の地権者の土地にも排土したと思うがどのような状況か。
- 【答】 地権者の了解を得て、林の中に土砂を入れさせていただいた。
- 【問】 土砂の搬出の際に、重機等で側溝を破損したと聞いたが把握しているのか。
- 【答】 工事に入る前と、工事が終了した後に、地区の役員に現地確認を行ってもらったが、工事によって破損した箇所があったとの話は聞いていない。
- 【問】 私が借りている田んぼの側溝が割れているが、確認しているのか。
- 【答】 今回の災害にかかわらず、以前から崩れているという話があり、今回の災害復旧事業の中で復旧できるようなものではなかったため、今後検討していく。

全体を通しての討論はなく、採決したところ議案第57号委員会所管事項は、委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定いたしました。

● 議案第60号 令和6年度白馬村水道事業会計補正予算（第2号）

収益的支出に173万6千円増額し、3億495万2千円とするもの、内容は二股浄水場高区送水ポンプ修繕費によるものや。電気代高騰による動力費の増額と会計年度任用職員の新規採用にかかる人件費の減額分によるものです。

【質疑・意見】

問 会計年度任用職員採用の見送りは、応募がなかったのか。

答 1名応募があり、内定を出したが辞退となった。

討論はなく採決したところ、議案第60号は、委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定いたしました。

● 議案第61号 令和6年度白馬村下水道事業会計補正予算（第2号）

収益的支出に365万8千円増額し4億8,536万1千円とするもの
内容は、電力価格高騰による動力費の増額や排水施設設置等補助金の件数増加によるものが主なものです。

【質疑・意見】

無し

討論はなく採決したところ、議案第61号は、委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定いたしました。

以上、産業経済委員会の審査等についての委員長報告といたします。